



『民家で居場所づくり “ばあちゃんち” が地域をつなぐ』

講師：村上 千幸先生（山東保育園園長）

2014年7月8日（火）10:00～12:00 会場：北九州市立大学
主催：コラボキャンパスネットワーク

コラボ講演会報告

★お話をうかがいながら、乳幼児期の子どもたちの暮らしに原因があるのか、「しゃがめない」など、「ロコモ症候群*」の予備軍のような子どもが増えていること、また熱中症が7年で倍になり、自律神経の失調による病気も増えていることなどに危機感を持ちました。子育ての「便利グッズ」を安易に使い、便利さ・快適さを追求することで、暮らしの中の、素朴な親子の関係づくりへの影響が確かにあります。

講師の、「親の利便性を図る支援ばかりをしていないだろうか？親と子の営みの全体を支援することが大切では？今の親は暮らしの中の葛藤で、ゆれている。短期間にこれをしなきゃ…と追われていくような子育てではなく、数年、数十年…と応答して子育てしていくことを支援したい。」という言葉の中に、子育て・親育ちの指針をしっかりと感じる事ができました。「時間の中でゆっくりと熟成していく人間観、子ども観」について、考えつづけていきたいと思えます。(1)

*ロコモ症候群…【ロコモティブ症候群、運動器の衰え・障害（加齢や生活習慣が原因といわれる）によって、要介護になるリスクが高まる状態のこと。】

参加者の感想より

* 便利なものを使うと失うものもある、ということをお話の中で、その時にあわせて使いたいな、と思いました。「エコが、え～子を育てる」は本当にそうだと思うので、ちょっとの不便を楽しみ、それが普通になればいいな、と思いました。家族で食卓をかこみ、幸せな暮らしがほしいな、と、もう少しがんばりたいです。「ばあちゃんち」行ってみたいな、と思いました。



* 核家族が増え続けている現代、“ばあちゃんち”が地域をつなぐ居場所づくり、とてもステキだなあ、と思いました。子どもの将来を思うと、今の乳幼児期の生活、とても大切です。自身の親は遠くに住んでおり、おばあちゃんの知恵袋ではないけれど、このような昔ながらの食生活、遊びなど教えていただきながら、親自身も自分のできることで、ボランティアができる、このような場があればいいなあ、と思いました。

次回 コラボ講演会

[子ども時代からの社会的包摂]

2015年1月22日（木）10:00～12:15 会場：北九州市立大学本館 C-402 教室

講師 奥田 知志氏 NPO法人 抱 樸（旧 北九州ホームレス支援機構）理事長
講師 楠 凡之先生 北九州市立大学

◆多様な子どもたちの確かな育ちのために、私たちはどのようにつながりあい、課題に取り組んでいけばいいのでしょうか？テーマについて、講師のお二人にそれぞれ語っていただいた後、対談の予定です。

*参加費：一般 500 円 学生 100 円 *託児：先着 20 名 *申込＆問合せ：イワマル 070-5532-5082

『コラボキャンパスネットワーク』とは？…2006年1月から北九州市立大学で、「北九州市立大学」、「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」、「NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」、「高齢社会をよくする北九州女性の会」、「NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画」、「NPO法人スキルアップサービス」の6団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。普段接することの少ない学生と地域の方々在北九州市立大学キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。

高齢社会をよくする北九州女性の会



◆2014年10月10日(金)、9回目の観月会が行われました。あいにくの曇り空で、お月さまとは出会えなかったけれど、たくさんの人と出会い、楽しい交流の時間を過ごす事が出来ました。

リコーダー、サクソ、ゴスペルや童謡の心にしみる美しい音色にうっとり♪恒例の学生さん達の「大道芸」「スタードーム」「ダンスパフォーマンス」に子どもたちは大喜び！最後まで大はしゃぎでした。

今年は、特製「厚揚げ入り野菜たっぷりカレー」とお芋や栗、南瓜の入った「季節の味覚セット」が登場し、秋を感じながらおなかもいっぱいになりました。たくさんの皆さんが心を一つに力をあわせて作り上げる「コラボ観月会」。

最後に東北の皆さんに想いを寄せて「おらほのラジオ体操」と「ふるさと」を輪になって歌い、日本のあたたかな文化を感じるとともに、皆で集える幸せに感謝する一日となりました。(S)

【菜園だより】

◆4号館前と青嵐門前で、多世代で交流しながら季節の花や野菜を育てています。12月10日(水)「フーリップ」の球根植え、1月14日(水)キャベツの収穫予定です。

一緒に体験してみませんか？【時間:11時～お昼頃まで】
*ご都合のつかない方はこの日に限らず、水やり他いろいろ参加できます。

◆お問い合わせください

*高齢社会をよくする北九州女性の会事務局 093-583-7604
*携帯 090-1342-2094 サトウ



NPO法人スキルアップサービス

◆「第2回シニア向けITリーダー養成講座」を北九州市立大学で9月5日～26日の毎週金曜日午後3時間、12時間コースで開催。18名が受講し、内容は「ITリーダーの要件」「NPO活動の実際」「セキュリティの取り組み」「パソコン指導実習」「第1回体験者との交流」等で出席率90%。現役引退後の社会貢献のあり方を求めて全員が終始真剣な眼差しで取り組み、5名がスキルアップサービスに入会されました。

また、ハロハロカフェに参加する、子育て中のお母さん向けに「ママさんパソコン相談会(仮)」を試験的に7月30日に開催。「パソコン購入時の留意点」をテーマに1時間の講義形式で行いました。結果として、子どもを遊ばせながら、お母さん方が講義を聴けるのは30分が限度なので、この点を踏まえて、第2回目を「パソコンよろず相談」の名称で10月29日に行いました。(M)

北九州市立大学 地域創生学群

◆8月20日(水)に第5回フシギ!サイエンスカフェを開催しました。当日は雨だったので、芝生広場ではなく室内で行いました。科学の不思議を体験できるブースを設け、子ども達に楽しんでもらいました。

私は、浮力を体験する「ぶかぶかさかな」というブースを担当しました。これは水を満たしたペットボトルの中に、醤油さしで作った「さかな」を入れて蓋をし、そのペットボトルを押すと浮いていた「さかな」が沈むという実験です。この不思議な感覚を子ども達に体験してもらいました。子ども達は、最初魚を上手に浮き沈みさせることができませんでした。しかし、手を添えて一緒にペットボトルを押したり、押す位置を繰り返し説明したりすると、子ども達自身で遊ぶことができるようになりました。

親子一緒になって楽しそうに遊んでいる姿を見て、この企画をして本当に良かったと思いました。参加していただいた方だけでなく、私達も楽しむことができた1日でした。

地域創生学群「子どもの学び」支援プロジェクト
1年池内美織



サイエンスカフェ
「ぶかぶかさかな」

野菜人形劇
「ベジタブル」

乳幼児子育てネットワーク・ひまわり

◆コラボ菜園で、子ども達は、トマト狩りやじゃがいもの収穫の体験を楽しんでいます。より親子で旬の食材に触れ合い、楽しい食卓作りを考えるきっかけ作りとして、10月1日、ハロハロカフェで、本物の野菜が人形に変身する野菜人形劇「ベジタブル」を開催しました。人形劇の後には、食育カルタを、学生さんも一緒に楽しみ、親子で食育について観て学んだ1日となりました。(N)

コラボキャンパスネットワーク
親子ふれあいルーム実行委員会

【小倉南区親子ふれあいルーム・さざん】

◆“土曜さざん”はじまりました！H26年10月～H27年3月までの期間、月1回土曜日にも開所することになりました。平日と同じように利用できます。パパやジジイも誘って遊びに来てくださいね。ご家族で楽しめる企画が盛りだくさん！「土曜日も開いていて、うれしいな」と、利用者にも好評です。(H)

*今後の開所日 11/22 12/20 1/24 2/14 3/28

場所：小倉南区若園5-1-5 小倉南生涯学習センター1階
☎ 093-922-5036 H P <http://sa-zan.jp/m/>
開所日：月～金曜日(土曜日月1回) 時間 10時～16時*無料